２液型溶剤系塗料仕様
ホーローベースコート JW 白（厚塗り型エポキシ系下塗り塗料）
バスピュアコート（改質アクリル変性ウレタン上塗り塗料）
パイロキープ TS2000（特殊アクリル変性シリコン上塗り塗料）

Construction procedure

ホーローバス 施工仕様・施工要領書

令和 6 年 4 月作成
株式会社彩色工房

錆発生ホーローバスの塗装改修施工要領（※注意：直火焚きホーローバスへの塗装は出来ません）

① 錆発生のホーローバスの状況です。

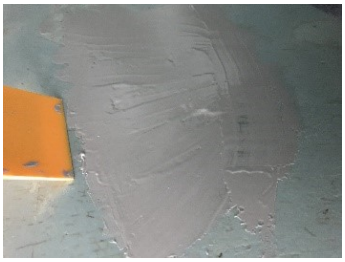
錆の発生の無いホーローバスでは錆処理は省き⑤からの施工となります。

② 最初に錆部の処理をします。錆はジスクの手掛けやワイヤーブラシ等で極力錆を落します。

③ 深い錆部には錆転換系錆止め（サビシャット推奨）を塗布し乾かします。

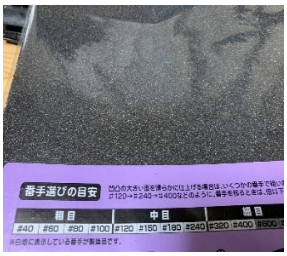
サビシャットは弊社ネットショップにて少量小分けあります。

④ 錆部は、２剤型エポキシパテ（ポリパテ不可）にてパテ処理します。
錆抑えは、このパテ処理が最も重要です。これを抜くと短期間で錆が再発します。



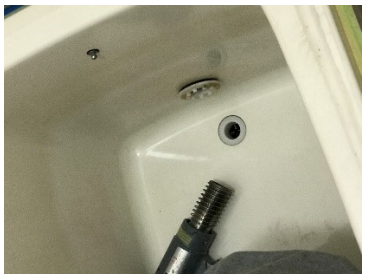
２剤型エポキシパテはホームセンターに置いてある物でも防錆は可能です（クイックメンダー等）
弊社ではエポックス#910 ソフトを使用しております。硬化前に硬化剤のポリアミドアミンが皮膚に付いた場合、カブレや皮膚炎を起こす場合がありますので作業中は必ずビニル手袋等をして作業を行って下さい。

⑤　足付け研磨をします（手研磨又は電動工具研磨）



※ホーローバス手研磨ではジスクの極粗目を使用します。塗装箇所全面を丁寧に研磨して下さい。コーナー入隅部を研磨しやすいスポン研磨(粗目)併用はお奨めです。コーナー入隅部は研磨しづらい上、体脂肪等の油分も残りやすい箇所です。全体に研磨傷が見える様、極粗目のジスクで丁寧に研磨して下さい。

⑥　強制乾燥。

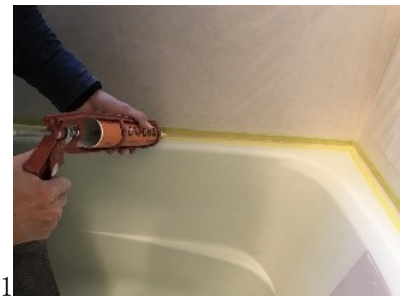


ドレン周りや金物周りの水分はドライアーで強制乾燥します。水分残りは塗膜剥離の大きな要因となります。

⑦　テープ養生

強制乾燥後ドレン周りや金物周りはテープ養生します。

⑧　シーリング処理



※元々のシーリングのほとんどは、シリコンシーリングが打ってあります。

シリコンシーリングの上に塗装した場合は密着しないで剥がれてしまいます。シリコンシーリングは一旦除去し変性シリコンシーリングに打ち直して塗装する。又はシリコンシーリングは一旦除去して塗装完了後に再度シリコンシーリングを打ち直す等の打ち直し処理が必要です。※シリコンシーリングに触れた軍手やウエスで塗装面を触ると塗装ハジキや剥離の原因となりますのでご注意下さい。塗装直前には十分なシンナーによる脱脂清掃が必要です。

⑨　脱脂清掃

シリコン分、油分の付着は塗装ハジキの原因、早期の塗膜剥離の原因となります。ウエスを交換して２度のシンナー脱脂清掃を塗装直前に行って下さい。

脱脂清掃で塗料シンナー（ペイントうすめ液）の使用は不可です。（塗料ハジキの原因となります）

付属の専用シンナー、ウレタンシンナー、ラッカーシンナーをご使用下さい。

⑩　塗装作業（概要）

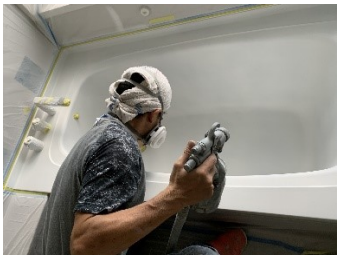
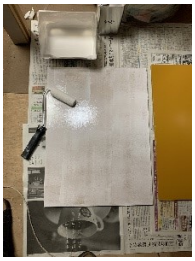
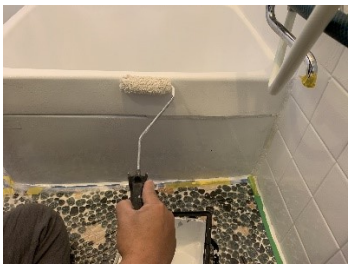
1. ホーローベースコートＪＷ白塗装（中級者様以上推奨）

ホーローベースコートＪＷは厚膜型の密着強化下塗りです。

ホーローバスは密着が悪く必ず必要です。

塗装機材は、吹付け・ローラー（部分的には刷毛も使用）です。

ローラー塗り、手刷毛塗りでは下記写真の様に色むらが出易いですが、色むらは問題有りません。

2. バスピュアコート塗装（アクリルウレタン系上塗り）中級者様以上推奨

バスピュアコートは手塗り作業を念頭に設定しております。

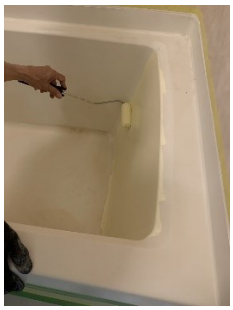
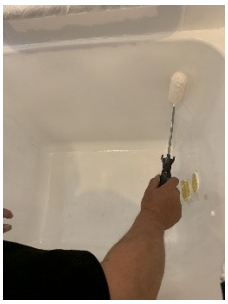
ローラー塗り特性に優れており、ＤＩＹも含め広くご使用頂いております。

塗装機材は、ローラー塗り（部分的には刷毛も使用）・手刷毛。吹付けも可能ですが、

ミスト被りが多い為、吹付けはミスト被りの少ないパイロキープを推奨しております。

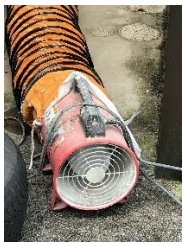
※クリアートップ仕上げの場合は仕上がり精度と耐汚染性、耐久性、艶感、肌触り感が上がります。

※刷毛やローラーを後日再使用する場合は丁寧に洗浄し、シンナーに漬けておきます。乾燥厳禁です。

3. パイロキープ塗装（アクリルシリコン系上塗り）上級者様・業者様推奨

吹付け特性が優れており、業者様の吹付け施工を中心にご使用頂いております。
ローラー塗りでは、泡噛み・泡残りし易くゆず肌も出易い為、不適です。
刷毛慣れをされている職人様では手刷毛でも大変綺麗に仕上げられます。
塗装機材は、低圧温風塗装機・スプレーガン・手刷毛。（電動吹付け機は不適）



⑪ 計量（共通）

料理用デジタル計量器、計量カップ等
塗料は２液性です。主剤、硬化剤、シンナーを計量小分けして使用します。
正確な計量を必要としますのでデジタル計量器が推奨です。

○下塗り：ホーローベースコートＪＷ白の塗装詳細です。

ホーローバス内面塗装では、上塗り塗料の２倍程度の厚塗が目安です。この厚塗り塗膜で粗いホーローバスの素地を平滑とします。ローラー塗りは作業性良く均一です。但し薄膜の為、ホーローバス内面では手返しを多くして厚塗りとして下さい（※手刷毛併用）。吹付けの場合は 1.2～1.5㎜ の大き目なノズルチップを使用。
吹付けは 800ｇ×厚付け１回塗りを目安に（主剤 700ｇ、硬化剤 100ｇ混合　７対１割合＋5～10%の専用シンナー）で厚付け塗装。厚付けは防水強化して水と金属を厚付けにより縁切りします。硬化後の研磨により平滑な素地を作り上塗りの美装にも寄与します。ローラー塗りでは 500ｇを計量します（主剤 435ｇ、硬化剤 65ｇ混合 7 対１割合＋5～10%の専用シンナー）。を計量し 1～2 回塗りします（深い錆や錆の点在する浴槽のローラー塗りではでは２回塗りが推奨です）ローラー塗りでは色むらが出ますが下塗りにつき問題はありません。

※硬化に８時間以上を要しますので研磨作業や上塗り塗装は翌日以降が推奨です。

➡

刷毛、ローラー塗り、吹付け共、厚付け→研磨で表面を平滑に整える。体質顔料が多く含まれている塗料の為サフェーサー的で研磨はし易いです。研磨粉は掃除機で吸い取る。又ウエスに若干のシンナーを含ませ研磨粉を十分拭き取り上塗塗装に移ります。（粉が残ると上塗りのブツやザラツキの原因となります。

密着・防水強化用厚塗り型塗材

品　名	成　分	荷　姿	用　途
ホーロー ベースコートＪＷ	水処理用ポリアミドアミン硬化エポキシ樹脂系塗料 （２液混合塗料）	主剤／硬化剤＝7／1 4kg セット 主剤:3.5kg 硬化剤:0.5kg 1 kgセット 主剤：870g 硬化剤：130g 専用シンナー0.3ℓ付属	下塗り 密着強化用 防水強化用 粗面カバー用

〇販売元・仕様設計・製品企画　(株)彩色工房

〇商品名　ホーローベースコートＪＷ　白

ホーローベースコートＪＷ　は他用途の既成品塗料ですが、長年の良好実績により弊社仕様として推奨させて頂いております。

荷姿　1 kgセット（ＪＷ・ＥＰ専用シンナー付属）

4 kgセット（ＪＷ・ＥＰ専用シンナー付属）

〇商品名　ＪＷ専用エポキシシンナー

〇希釈量　吹き付け：５～10%（チップは 1.2～1.5 ㎜程度）

刷毛・ローラー塗り：５～10%

〇塗り重ね時間　１０℃：最短１６時間、最長７日　２０℃：最短１２時間、最長７日

３０℃：最短８時間、最長７日　研磨可能のインターバルを開けて下さい。（翌日以降推奨）

〇使用可能時間　３時間　最大３時間以内で使い切って下さい。

〇＃２００～＃３００番粒度のジスク（スポンジジスクではミディアム）を使い平滑な表面に研磨する。

※希釈用、機材洗浄用は必ず専用シンナー（ＪＷ専用シンナー）をご使用下さい。

他シンナーの代用性はありません。

※安全管理

浴槽浴室用塗料及び脱脂使用のシンナーは、有毒の有機溶剤を含みます。狭室での作業となりますので

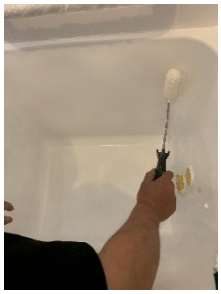
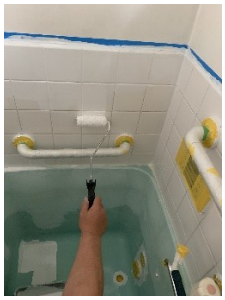
★有機溶剤用マスク着用　★ビニール手袋・ナイロン手袋の着用　★研磨作業時の防塵マスク着用

★塗装用ゴーグルの着用　★窓の全開放及び送風機等での十分な換気

★火気厳禁

は厳守願います。

○上塗り：バスピュアコート塗装詳細（DIY 中級者様以上向け）

刷毛塗り・ローラー作業性がとても良い塗料です。初期硬化(指触乾燥)が早く、とても手離れが良い為、ＤＩＹ使用でも大変ご好評を頂いております。陶器、タイル、ポリエステル（ＦＲＰ）塩ビ鋼板その他多種の素地に高密着する塗料です。詳細は弊社ブログもご参照下さい。

陶器、壁面タイルの直接塗りにも対応しますが、ポリッシャー等で必ず足付け目粗しを行って下さい。

バスピュアコートのご紹介

バスピュアコートは既存塗料からの選定品です。

一般に浴槽用塗料の無い中で水質安全性が高く（日本水道協会が定めた自主規格 JWWA-K143-2017 適合品）

耐水性、密着性の高い塗材をベース塗料に選定しております。

弊社ではこれを一部浴槽向きに改質し、各素材での密着テスト、1 ヶ月以上の耐熱虐化テスト後の密着テスト、実施工での経時確認等を経て仕様及び施工要領を組ませて頂いております。

バスピュアコート規格

品　名	成　分	荷　姿	用　途
バスピュアコート	アクリル変性 ウレタン （改質）	主剤／硬化剤＝8／2 4 kgセット（主剤：3.2kg/缶、硬化剤：0.8kg/缶） 2 kgセット（主剤：1.6kg/缶、硬化剤：0.4kg/缶） （専用シンナー付属） 1 kgセット（主剤：0.8kg/缶、硬化剤：0.2kg/缶） （専用シンナー付属）	仕上げ塗材

（販売元・仕様設計・製品企画・塗料改質）　株式会社彩色工房

商品名　バスピュアコート（日塗工調色又は彩色標準色）

有機溶剤の種類　主剤・硬化剤：第４類第２石油類

規格　バスタブ用小分けとして１ｋｇセット、２ｋｇセットの荷姿対応しております。

但しこの場合、白及び彩色工房バス用標準色のみとなります。

日塗工調色、個別調色の場合は４ｋｇセットの荷姿となります。

希釈溶剤　バスピュアコート専用シンナー（ウレタンシンナー一般品代用可）

シンナー希釈量　　刷毛・ローラー塗り１０～２０％　吹き付け１５～２０％

規格　　小分け１ℓシンナー・0.5ℓシンナーは２kgセット、１kgセットに付属しております。

使用可能時間　最大３時間ですが、１時間程度で塗り切れる量を小分けして下さい。

混合後３時間以上経った物を使用されると仕上がりは悪く塗膜剥離の原因となります。

※ バスタブ１回塗り小分けは 400ｇ（主剤 320ｇ硬化剤 80ｇの混合）が目安です。

400ｇに対するシンナー量は手塗りでは 40ｇ～60ｇが目安です。

※塗装中に時間の経過で塗り感が重くなった場合はシンナー追加して塗りやすい状態で塗装して下さい

バスピュアコート塗装要領

１回目	バスピュアコート 標準色・指定色	バスピュアコートを規定の配合、適量で小分け混合し、手刷毛・ローラー（ローラーは※抜け毛の少ないウレタン・シリコン等の溶剤対応品、中毛スモール４インチ推奨）／ 塗り重ねは１回目塗布後最短４時間以上空ける。 硬化後ブツやゴミ噛みや刷毛目・刷毛ムラの有る場合は＃300～＃400 番程度のジスク、スポンジジスクミディアムで研磨し表面を整える。	0.12～0.15 ×１回
２回目	バスピュアコート 標準色・指定色	バスピュアコートを規定の配合、適量で小分け混合し、手刷毛・ローラー（ローラーは※抜け毛の少ないウレタン・シリコン等強溶剤対応品、中毛スモール４インチ推奨）／硬化後ざらつきやブツ肌が有る場合はコンパウンドやバフ使用で仕上げます。 浴槽使用は塗装終了後 48 時間以上空ける。	0.12～0.15 ×１回

３回目にクリアーコートを塗布する場合も多いです。0.12～0.15/㎡×１回

※この場合は２回目塗装後にコンパウンドは使用しないで下さい(ハジク場合が有ります)

クリアーコートのメリットは、

〇美装性、艶感が上がる。緻密な塗膜の為、汚染除去性が上がる。耐久性が上がる。

〇仕上げ塗装で発生したザラツキ肌、ブツ肌をカバーする事が出来肌触りの良い仕上げ塗膜となる。

（カラー仕上げ塗りで発生したブツはスポンジジスクマイクロファイン等細目のジスクで軽目に手研磨します）カラーの表面が変色しない程度の研磨後クリアーをコーティングします）

※バスピュアコートの初期硬化（指触乾燥）は速乾ですが、本硬化、実用硬化は時間を要します。

特に厚塗りした場合、底部に溜まりが出来た場合は硬化が遅れます。ご注意下さい。

※底部の極端な厚塗りやダレによる塗料溜りは皮張り現象により剥離の原因となります。

扇風機や送風機で風を当てると硬化は早くなります。遠目から底板に向け当てるのは推奨です。

ＤＩＹでの２回目塗装は翌日が安全です。

※施工を急がれる業者様では硬化促進剤（別売）を 1～2%程度添加される場合があります。

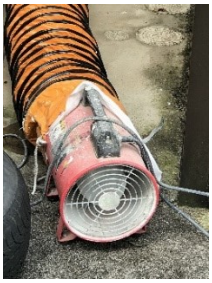
硬化剤と硬化促進剤は別物です。セットの硬化剤は必ず規定量で混合して下さい。

一般にＤＩＹでは硬化促進剤（別売）は使用されません。

※主剤のみで塗布された場合は塗料が硬化しません。剥離しますのでご注意下さい。

※ピンセットが有れば便利です。抜け毛、ゴミの付着を効率よく除去できます。

○上塗り：パイロキープＴＳ2000 塗装詳細（吹付け上級者様～業者様向け）



パイロキープは業者様の吹付け塗装で大変綺麗に仕上げて頂いております。吹付け作業性の大変良い塗料です。一方で刷毛塗り塗装で艶々で大変綺麗に仕上げて頂いている業者様もおられます（刷毛塗り熟練要）
艶感や美装では特筆の塗料です。物性も耐久性、耐熱性、耐汚染性で大変優れた塗料です。
パイロキープはシリコンリッチの変性シリコン塗料につきローラー作業はゆず肌となり易いのでご注意下さい
以前あったローラー作業での泡残り問題は消泡剤の改良により解消されました。
インターバルフリー（塗り重ね時間によるチヂミの心配が無い）塗料につき作業性は良いです。
吹付けでの上塗り工程で、1～2%の硬化促進剤（別売）を添加した施工では、（※熟練施工）
１回目の上塗り→１～2 時間→２回目の上塗り→１～2 時間→クリアー仕上げの１日施工も可能です。
（インターバルの１～2 時間は指触乾燥の待ち時間です）
高温期で液温が高い場合に硬化促進剤を使用する場合は短時間で塗料が増粘～ゲルします。
※混和～塗装～塗装機材洗浄の工程を 10 分～15 分で速やかに行って下さい。
（硬化促進剤を入れない場合も混和後速やかな施工は塗膜が綺麗です）
陶器、タイル、ポリエステル（ＦＲＰ）、硬質塩ビ他多種の素地に実績多数の塗料です。
陶器、タイルも直接塗りは可能ですが、ポリッシャー等による足付け目粗しは必要です。

パイロキープＴＳ2000 規格

品　名	成　分	荷　姿	用　途
パイロキープ TS2000	チタン酸カリウムウイスカー含有特殊アクリル変成シリコン	**主剤／硬化剤比** **（カラーは７／３）** **（クリアーは６５／３５）** 10kg セット（主材：７kg/缶、硬化剤：3kg/缶） 4 kgセット（主剤：2.8kg/缶、硬化剤：1.2kg/缶） 2 kgセット（主剤：1.4kg/缶、硬化剤：0.6 kg/缶） １kgセット（主剤：0.7kg/缶、硬化剤：0.3kg/缶） 0.5ℓ専用シンナー付属	仕上げ塗材

製造　　株式会社ビルドランド

販売元・仕様設計　株式会社彩色工房

○商品名　　パイロキープＴＳ2000（日塗工調色及びクリアー）

有機溶剤の種類　主剤・硬化剤：第４類第２石油類（キシレンを含む強溶剤）

○規格　　１０ｋｇセット・４ｋｇセット・２ｋｇセット

㈱彩色工房にてバスタブ用として１ｋｇセット荷姿にて小分け対応しております。

但しこの場合、白及び彩色工房浴槽用標準色となります。

個別調色（日塗工合わせ）の場合は２ｋｇセット以上の荷姿となります。

○商品名　　パイロキープ専用シンナー（キシレンを含む強溶剤）

規格　　４ℓ缶（広島県・石川県出荷）／１ℓ缶及び0.5ℓ缶の付属シンナー（広島県出荷）

（ウレタンシンナーでの代用可能です）

○商品名　　硬化促進剤(別売)80ｇビン又はポリビン、200ｇ缶（石川県、広島県出荷）

（寒冷期や作業を急ぐ場合１～２％添加する）

○使用可能時間　最大２時間ですが、30分程度で塗り切れる量の小分けが綺麗です。

（別売の硬化促進剤を添加の場合は15分程度で塗り切れる量を小分けして下さい）

バスタブ１回塗り小分けは400ｇ（主剤280ｇ硬化剤120ｇ）＋シンナー50～60ｇが目安です。

パイロキープ塗装要領

１回目	パイロキープ TS2000 標準色・指定色	パイロキープを規定の配合、適量で小分け混合し、シンナー調整する。手刷毛・(ローラーは泡噛みの為、不可です)・スプレーガン等にて均一に塗布する。カップガン、低圧温風共可能。 塗り重ねは１回目塗布後４時間以上空ける。 （別売）硬化促進剤2%添加では1～2時間空ける。硬化後ブツやゴミ噛み有る場合は＃200～＃400番程度のジスクで軽く研磨し表面を整える。	0.12～0.15 ×１回
２回目	パイロキープ TS2000 標準色・指定色	パイロキープを規定の配合、適量で小分け混合し、シンナー調整する。刷毛・(ローラーは泡噛みの為、不可です)・スプレーガン等にて均一に塗布する。カップガン、低圧温風共可能。 半硬化は20℃で６時間以上。 （別売）硬化促進剤 2%添加での半硬化は 1～2時間。硬化後ざらつきやブツ肌が有る場合はコンパウンドやバフ使用で仕上げる。 施工終了後の養生時間は48時間推奨。(20℃)	0.12～0.15 ×１回

任意でパイロキープＴＳ2000 クリアー仕上げする場合があります。
この場合は２回目塗装後にコンパウンドは使用しないで下さい(ハジク場合が有ります)
3 回目にクリアーコートする場合。0.12～0.15 kg/㎡×１回
クリアーコートのメリットは、
〇美装性、艶感が上がる。緻密な塗膜の為、汚染除去性が上がる、耐久性が上がる。
〇仕上げ塗装で発生したザラツキ肌、ブツ肌をカバーする事が出来肌触りの良い仕上げ塗膜となります。
（カラー仕上げ塗りで発生したブツはスポンジジスクマイクロファイン等細目のジスクで軽目に手研磨します。耐水研磨紙での空研ぎは黒色が付きますのでご注意下さい。スポンジジスクは推奨です）
カラーの表面が変色しない程度の研磨後クリアーをコーティングします）
※パイロキープクリアーの混合比は（主剤 65：硬化剤 35）です。粘度は低い為シンナー希釈は混合塗料に対し5%程度です。シンナー希釈量が多い場合や厚塗りでは後ダレを起こしますので要注意です。
バスタブ塗装での一般的な使用量は 300ｇ程度です。（主剤 195ｇ：硬化剤 105ｇ：シンナー15ｇ）
※カラーと較べ硬化時間は長目です。
※ピンセットが有れば便利です。抜け毛、ゴミの付着を効率よく除去できます。
※施工を急がれる業者様では硬化促進剤（別売）を 2%程度添加される場合があります。（熟練要）
硬化剤と硬化促進剤は別物です。セットの硬化剤は必ず規定量で混合して下さい。
※主剤のみで塗布された場合は塗料が実用硬化しません。

その他共通

その他共通留意点

施工上の留意点(共通)
１．施工前
① 5℃以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。
② 過湿状態での塗装（85%以上）は避けて下さい（透明度・艶が減少する場合があります）
③溶剤系塗料やシンナーを使用します。密室作業ですのでミストの排気、防毒マスクの着用、送風機による充分な換気、火気厳禁等の厳守願います。

窓開け、遠目から送風機での換気を推奨します（安全対策及び乾燥の促進になります）
部屋を閉め切っての養生はシンナー籠りとなり特にバスタブ底部の硬化が遅くなります。

その他注意点

○大きなクラックが生じているものは塗装できません。→クロスライニング処理が必要となります。

○パテ使用の際は２剤型エポキシパテを使用。ポリパテは使用できません。

○主剤塗料は開封前、混合前に十分に攪拌して下さい。混合後は１分程度十分に混ぜ合わせて下さい。

○小分け後は速やかに蓋を閉めて下さい。特に硬化剤は湿気硬化しますのでご注意下さい。

○刷毛・ローラーは十分洗浄しても乾燥するとゴワゴワして再使用出来ない場合が有ります。引き続き使用される場合は、シンナーに浸漬して置いて下さい。

○溶剤型塗料につき換気には十分注意して下さい。ヒーター等の火気に対しても十分注意して下さい。

○お風呂洗浄の際は中性洗剤を使用し、スポンジ等も塗膜を傷付けない柔らかい物をご使用下さい。

○入浴剤に硫黄系、唐辛子系、酵素系等を使用した場合、着色する場合が有ります。

○洗い場、腰壁、壁面塗装も基本ポリバス仕様に準じます。

○※ホーロー箇所以外もホーローベースコートＪＷ白を密着プライマーとしてローラー、吹付けで塗装される業者様がおられますが、（洗い場タイル等）ホーローベースコートＪＷ白は密着強化下塗りです。

その他の注意点及び参考写真

速乾ノンブリード変性シリコンシーリング（塗装前打ち用）

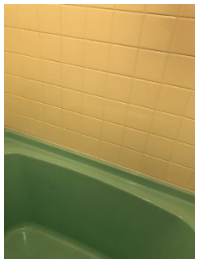
現場調色用トナー（ハイコンク溶剤用）

スポンジ研磨

ホーロー浴槽は磁石が付きます

塗装前の漏水のある大きなクラック処理はクロスライニングとなります。
弊社ブログご参照願います。

塗装面への吸盤役物の取り付けは不適です。
引っ張って剥がさず、爪で空気を入れて剥がします。



タイル壁や FRP 洗い場はポリッシング（足付け研磨）→直接塗装可能です。

溶剤に溶けるプラスチックキャビネットやプラスチック天井は塗装不可です。2 回目の塗装で塗膜チジミが出やすいです。1 回塗りとするか他社プラスチック塗料や浴室用水性塗料等での塗装となります。

※以下施工中、保管中、取り扱い中の注意事項となります。

安全衛生上の注意事項

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸引したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますので取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取り扱い及び貯蔵上の注意

1. 火気の無い局所排気装置を設けた場所で使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようして下さい。
   取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じ勇気ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等を着用して下さい。
3. 取り扱い後は手洗いおよびうがいを行って下さい。
4. しっかり蓋をし、40℃以下の場所で貯蔵して下さい。

緊急時及び応急処置

1. 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 皮膚に付着した時には速やかに石鹸水で洗い落として下さい。
3. 目に入った時には速やかに多量の水で洗い流し医師の診察を受けて下さい。
4. 蒸気、ガス等を吸い込み気分が悪くなった時は安静にして医師の診察を受けて下さい。

液体で廃棄する際は産業廃棄物として処理して下さい

〇バスピュアコート及びパイロキープ

塗料名称	合成樹脂エナメル塗料	有機則	第 2 有機溶剤等	
消防法	第 4 類第 2 石油類	成分	キシレン	酢酸ブチル
	危険等級Ⅲ　※火気厳禁		エチルベンゼン	

〇専用シンナー

塗料名称	専用シンナー	有機則	第 2 有機溶剤等	
消防法	第 4 類第 1 石油類	成分	キシレン	酢酸ブチル
	危険等級Ⅱ　※火気厳禁		エチルベンゼン	トルエン

※（バス施工特記事項）

浴槽浴室の塗装改修は仕上がり精度が主観となります。又、難易度の高い施工となり仕上げ精度が施工者の熟練度に左右されますので弊社ではこれの苦情は受けかねます。よって安全管理～塗膜責任まで施工者様の自己判断・自己責任にてお願いしておりますご了承下さい。

但し、弊社では塗料に著しい欠陥がある場合に限り、購入代金を上限とし責任を負うものとします。